



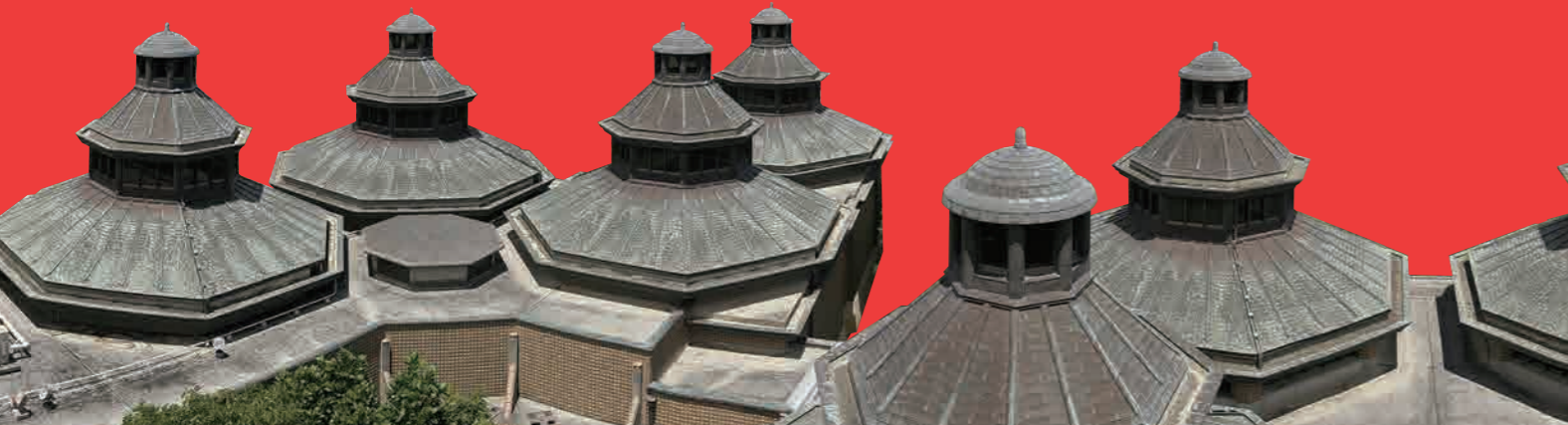
①建設中の美術館を上空から②美術館開館③美術館に訪れた秋篠宮妃紀子さま④有名画家の作品を堪能する人たち⑤ヨーロッパ印象派絵画展に長蛇の列。8万人余りの人が来館した

30th
Anniversary!

浦添市美術館

浦添市美術館は、琉球王国で華開いた琉球漆器を始めとしたアジア各地の漆芸品を中心に所蔵し、琉球漆器の素晴らしさを多くの沖縄県民に伝える事を目的に、平成2年2月1日に開館しました。市民の皆さんに支えられ、2020年2月には30周年を迎えます。

開館30周年を記念し、市指定文化財44件を含む琉球漆器の優品を一挙公開する展覧会も開催されます。これを機会に美術館に足を運んで、漆の世界から琉球王国時代の空気を感じてみませんか。



浦添市議会議員 島尻 忠明

明けましておめでとうございます。
市民の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。
旧年中は浦添市議会活動へのご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。
さて昨年は「サンエー浦添西海岸PARCO CITY」の開業、沖縄都市モノレール延長区間の開業により、市内外はもとより県外さらには国外の皆様が行きかう街へと移り変わり、更に伊祖城跡をはじめ14の文化財が日本遺産に認定されたことから本市の認知度が一気に上がったことを確信した一年でありました。
迎えました令和2年は、市制施行50周年を迎えるにあたり「50年の時を超え、一歩また未来へ、浦添市」をキャッチフレーズに一層の飛躍・発展が期待されております。
ただこ浦西駅周辺の開発、主要幹線道路、パークアンドライド駐車場など交通結節のインフラ整備により周辺地域のアクセスの中心として、より活性化した浦添になるものと考えております。
「まちづくり」の主役は市民の皆さままでございます。市議会といたしましては、市民の皆様の多様な意見を市政に適切に反映させる責任を担っており、議員一人ひとりが研鑽に努め、資質の向上を図ることはもとより、皆様のより身近な存在でなければならぬと存じます。
本年も全議員が一丸となり、本市の輝かしい未来に向け、市政発展に尽くしてまいりますので、変わらぬご支援とご協力を心からお願い申し上げます。
結びに、新年が皆様にとりまして、素晴らしい一年となりますよう心からご祈念申し上げ、新春のごあいさついたします。

新年のご挨拶



浦添市長 松本 哲治

あけましておめでとうございます。
市民の皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。
旧年中は、本市の市政運営に多大なるご支援とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。
さて、浦添市は1970年7月1日に浦添村から市へ昇格して誕生し、今年市制施行50周年の大きな節目を迎えます。
4万2千人ほどだった当時の人口は、宅地造成や企業立地が進み、現在では人口約11万5千人と大きく発展してまいりました。
また、昨年は6月の「サンエー浦添西海岸PARCO CITY」の開業や、10月の沖縄都市モノレール延長区間の開業などもあり、街の様相が大きく変わった一年となりました。
この50年を振り返り現在の浦添を見渡すと、このような都市基盤の整備をはじめとしたハード面の目覚ましい発展や、福祉、子育て、教育などのソフト面での時代に即した拡充など、様々な分野でまちづくりの成果が現れております。
そして、このような本市の発展は、これまで多くの市民や各種団体、企業の皆様が、それぞれのお立場から一つひとつ築いてこられた結果であり、魅力ある浦添市を目指して取り組んでこられた皆様の成果でございます。これまで本市のまちづくりを支えていただいた全ての皆様に対しまして、この場をお借りして深く感謝申し上げます。
本市は今年、これまでの50年を振り返りながら、先人が築いてこられた浦添の魅力を変えて見つけ直し、そして、新たに生まれる魅力と融合して、市民の皆様とまた一歩未来へ進んでいくための一年にしたいと考えております。市民並びに各種団体、企業の皆様には、引き続きご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。
結びに、令和2年が皆様にとりまして、明るく希望に満ちた素晴らしい一年となりますよう祈念申し上げ、新年のごあいさついたします。

